

2016年9月17日発売の週刊少年ジャンプで最終回を迎えた「こちら葛飾区亀有公園前派出所(以下こち亀)」ですが、こち亀由来の銅像が亀有駅を中心に15体設置されているのはご存知でしょうか。漫画の中で描かれた風景や暮らし、人情にも併せて触れてきました。

何の下調べをせずとも、亀有駅構内でマップを入手すれば、誰でも銅像巡りを開始できます。銅像を巡る傍ら、オリジナルグッズや亀有名物を購入するのも楽しみです。近年ではアニメ化やドラマ化もされたので、そちらで亀有風景を懐かしむ方も居るかもしれませんね。



銅像巡りは、若い女の子達も参加していますので、「シャッター押しましょうか？」と声を掛けるチャンスが多々あります。英語でも言えれば万全です。順番待ちでいららせず、のんびり巡るのが楽しむ秘訣ですね。

こち亀銅像15体の名称や場所はブログを参照していただくとして、漫画の中で40年間緻密に情緒豊かに描かれてきた下町の風景を辿っていると、心地よい懐かしさがこみあげてくるのでした。さて、こち亀を200巻読み返すとしてみよう。100時間くらいで見当をつけているがどうだろう。

ブログに本文掲載 <http://blogs.yahoo.co.jp/hitofumi300/14381095.html>

レポーター:ひばりが丘 そば処 柳屋 店主 伊藤秀継

平成28年11月 サイクルモード

毎年幕張メッセで開催される「サイクルモード」に行ってきました。会場はいつもながらの賑わいでしたが、以前に比べて変わってきたなと思うのは 自転車や周辺パーツの展示だけでなく 見に来た人たちが参加できる企画が多く見受けられました。例えば ミニ講演会、トークショー ただ見ているだけでなく、一緒に参加している感が養われる企画です。



自転車ライフを一層楽しむための 自転車に乗せてキャンプに行きたくなるようなワンボックス車の展示もよかったです。金魚すくいは驚きました。一緒に行った孫は大喜びでした。

く、幅広い年齢の

人達が楽しめる企画、例えば 日本各地のB級グルメ飲食ブース

・子育てママの電動自転車安全運転レース または、高齢者用自転車展示や高齢者交通安全講習会等々 取り入れて、総合的に「楽しいサイクルライフ実現」のイベントにしてみたいです。外では 自転車レースもやっていたし、数時間は楽しめますが 半日から全日楽しむ為には もっともっと変身してほしいと感じました。

(あ、カンパブースに見たことのある人が……)

レポーター:小林 昭